

がん放射線療法看護認定看護師

- がん放射線療法看護認定看護師は、放射線療法を受ける患者とその家族に対して、治療を安全・確実に、かつ継続して行えるための個別的、全人的な看護実践を提供します。
- 放射線療法看護の専門的知識と実践力を基盤として、看護スタッフの指導・相談を行います。また、関連する他職種と協働し、チーム医療の中核となる役割を担っています。

* こんな活動をしています *

- ・放射線療法を受ける際の意志決定支援
- ・放射線療法の効果と有害事象(副作用)のアセスメント
- ・有害事象(副作用)に対する効果的な予防と症状緩和の指導
- ・セルフケア確立に向けた患者家族への指導
- ・安全・安楽を確保するための環境整備
- ・放射線療法看護について他の看護職者への指導、相談への対応
- ・がん放射線療法看護の勉強会

堀川朝子（2012年取得）所属：検査治療外来

私は入職後、10年ほど耳鼻咽喉科病棟で勤務していました。頭頸部がんに対する放射線療法を受ける患者さんと接する中で、その当時私ができることは少なかったように思います。そして、有害事象（副作用）にどのように対処したら良いのか、もっと看護師としてできることはないのか、患者さんが前向きに放射線療法に取り組めるような関わりをするにはどうしたら良いか、と考えるようになり、認定を取得するに至りました。

現在は放射線治療外来に勤務し、毎日、放射線療法を受ける患者さんと接しています。多くの患者さんは外来通院です。外来での少しの時間を利用して、患者さんの不安な思いを聞き、ケアを通して治療完遂の支援をしています。

放射線治療医や主科の医師とのカンファレンスに参加したり、医師・診療放射線技師とともに治療時の注意点を確認したりと、多職種と関わりながら放射線療法看護の向上に努めています。

上野知江（2016年取得）所属：検査治療外来

放射線関連の検査や治療に携わって約20年になります。私は、その中で放射線療法を受ける患者さんと向き合って、『がん放射線療法看護』の確かな知識と技術を学びたいと思い認定看護師になりました。全国にまだ200名ほどと少ない分野ですが、情報を交換しあい、集学的治療と意思決定支援、セルフケア支援に努めています。